

# 音更町地球温暖化対策実行計画の 取組結果を公表します

町は、平成20年3月に「音更町地球温暖化対策実行計画」を策定し、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。計画は役場の全ての事務・事業について、温室効果ガス排出量削減の取り組みを行い、地球温暖化対策を推進するものです。改めて計画の概要と平成24年度の実績をお知らせします。

▷計画期間 平成20年度から平成24年度までの5年間

※平成25年度以降については計画の見直しを行い、第2次音更町地球温暖化対策実行計画を策定しています。計画期間は平成25年度から29年度までの5年間です。計画の概要は広報おとふけ平成25年12月号および町ホームページで公表しています。

▷対象とする温室効果ガス 二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン

▷温室効果ガス排出量（基準年度：平成18年度） 9,353,922 kg

▷温室効果ガスの削減目標 平成18年度排出量の5%（467,696 kg）の削減

▷平成24年度の実績 排出量は9,047,879 kgで、3.27%（306,043 kg）の削減となりました。

▷具体的な取組 公用車の運行、暖房の温度設定、電気の節電など職員全員で削減に取り組んでいます。

▷公表 計画に基づいた取り組み状況と温室効果ガスの排出量を、毎年広報紙やホームページなどで公表します。

◆温室効果ガス別内訳（単位：kg/年）

調査項目	平成18年度実績	平成24年度実績	増減率（%）
二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）	9,345,035	9,038,856	△3.28
メタン（CH <sub>4</sub> ）	2,157	2,080	△3.57
一酸化二窒素（N <sub>2</sub> O）	5,560	5,344	△3.88
ハイドロフルオロカーボン（HFC）	1,170	1,599	36.67
総排出量	9,353,922	9,047,879	△3.27

◆二酸化炭素にかかる燃料別使用量内訳（（ ）内は単位）

燃料種別	平成18年度実績	平成24年度実績	増減率（%）
ガソリン（L）	50,682	56,520	11.52
軽油（L）	19,250	17,069	△11.33
A重油（L）	1,533,502	1,407,753	△8.20
灯油（L）	242,777	265,956	9.55
液化石油ガス（m <sup>3</sup> ）	15,046	14,762	△1.89
電気（kwh）	9,126,460	8,951,509	△1.92

▷取組結果の概要 平成24年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度の平成18年度と比較して3.27%の減少となりました。温室効果ガス総排出量のおよそ99.90%が二酸化炭素で、燃料別使用量は、軽油・A重油・液化石油ガス、電気で減少しましたが、ガソリン・灯油は増加しました。ガソリンが増加した要因は、公用車のディーゼル車が減少しガソリン車が増えたこと、灯油が増加したのは公共施設での使用量増によるものです。また、温室効果ガス総排出量が減少したのは、二酸化炭素の約48%を占める電気の排出係数が、平成18年度の0.479に比べて平成24年度では0.485と若干高くなったものの、街路灯の省エネ化を図ったことが大きな要因です。

※電気の排出係数は、温室効果ガスの排出量を算出するときに用いられ、火力発電所の稼働率などによって毎年変動します。また、電力会社によって電源（水力・火力・原子力）比率や燃種（石油・石炭・天然ガスなど）が異なるため、電力会社ごとに排出係数も異なります。

問合せ先 役場環境生活課環境対策係（内線564）